

うちなーぐち

かわら版

沖縄語を話す会会報

第19号

2015年7月4日発行

会長 山路 安清

事務局（編集室）

〒215-0031

川崎市麻生区栗平2丁目2番9-303

hasama-kuni@nifty.com 國吉 真正

電話 & F a x 044-988-8065



旧首里城守礼門（県指定有形文化財「建造物」）昭和33年復元

「おきなわご沖縄語を話す会」はなかい月に二回ちち集またけんあちてぬ勉強会、びんちよーらい品川しながわぬ大崎あーさきをて

- ・うちなー沖繩ちむくるぬ肝心 ----- 澤岬弥生
- ・んかしばなし昔話 ----- 新垣清松
- ・はじ初くみちどいみてぬ組踊 ----- 和田晶子
- ・会報に出てきた語句の説明
- ・事務局から

ホームページ

<http://www.wwq.jp/p/>

沖縄語教育支援文庫

<http://www.wwq.jp/q/>

わ 我んが、生まり育てらったる大阪から沖縄ん人ぬ
ゆみな 嫁成てっ来、九年ぬ月日ぬ経っちょーいびーん。

おと 夫ぬ仕事する所ぬ変わたる為に、今まで、久米島、
うりから、那覇をて、暮らちょーいびーたん。

あんし、今、石垣をて暮らちょーいびーん。

いしがち 石垣をて暮らし始めてから、沖縄口聞ちゆる場
そ 所、いきらく成いびたん。

くにしんしー やいびーしが、國吉先生が、「沖縄語を話す会」ぬ会報、
びんちよーい うりから、勉強会ぬレジメンで、細きて送て呉
くめ うくく しみえーいびーくと、先生ぬ御蔭に石垣なかい居て
しんしー うかじ いしがち ち
ん、沖縄口習りーる事成て、いっぺー有難一事や
うちなーくちち ありがて くとや
んて思て、にふーうんぬきとーいびーん。

わ さて、我んが、九年前に沖縄をて、暮らし始めた
くる うはなし 頃ぬ御話んでーうんぬきやびら。

わ うちなー れきし ぶん うんにーねー、我んねー、沖縄ぬ歴史、うりから、文
化にちてー、むさつと分かいびらんたん。

うちなー ちゆ うはなし なーか わ 我んねー、初みて聞ち
うちなー ちゆ うはなし なーか わ 我んねー、初みて聞ち
やるふるましー言葉ぬあいびーん。

うれー、「モアイ」んて言しやいびーん。

「きよー 今日、モアイ行く？」んて言ちやい、また、あした、
モアイでね！」あんし、又「昨日、モアイ行った？」

んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」

んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」

んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」

んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」

んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」

んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」

んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」
んて言ち、話そーし聞ち、此れー、ちつと「モアイ」

やびらん。

あんし、「モアイ」んて言しえー、「模合」んて言る事
ぬ分がて、うぬちむえーと、仕様にちて、しかつと
習ーち呉みしえーいびーたん。

く 此ぬ如っし、沖縄ぬ事にちてー、むさつと分から
んたる我んぞやいびーしが、沖縄ぬ言葉、うりから、
ぶん 文化習て、又、沖縄ん人ぬ肝心分かい如成て、
めーにちちむう 毎日肝打たりーる日々ぬ暮らし方そーいびーん。

たど 例れー、「食めー、食めー攻撃」ぬ事やいびーん。
みー 目ぬ前んかい居るっ人ぬ、やーさしえー居らんがや
ー。うりから、ちやっさん旨さ物食て、根気補なて取
らしわどやる。又、ふっちー食て、幸に成て呉り
んて言る「食めー、食めー、攻撃」ぬ内なかいある
「肝清らさし」と「し情き」んかい肝打たつとーい
びーん。

ちつと、くぬ「肝清らさし」と「し情き」ん沖縄ぬ肝
くくる 心ぬーちやんで、我んねー、思とーいびーん。

く 此ぬ頃んしえー、我んにん、たつたっ人んかい「食
めー、食めー、攻撃」する如成て来よーいびーん。

ゆ 言ーにん及ばん、食み物なかい肝清らさる心込みて、
「うり、食めー。」んて言る如っし……。

しーじゃ方んかえー、しかつと、「うさがみそーれー。」
んて、うんぬきとーいびーんどーたい。

う 終わい



ほうおうぼく

一ち目。昔、我つ達尋常高等小学校ぬ裏んかい、をーじ畠ぬあいびたん。昼ぬ休み時間成いねー、うぬ畠んかい入っち、ふどぬうっぴそーるをーじ折て、齧て、口じゆくいする嫌な童ん達が居いびーたん。

いちゆたーしーねー、しーじゃぬ達が、「こらー！」んで言ちあびたくど、童ん達や、食み残ちえーるをーじ捨てて、畠からあー放らつとーいびーたさ。しーじゃぬ達や、食み残ちえーるをーじ齧て、「あつさみよー、あんし甘さる。」んで言ち、腸ぬみー食どーいびーたんやー。

実一、をーじえー、上むてー、あんすか甘こー無ーやびらん。

やいびーくと、嫌なじんぶん持つちよーるしーじゃぬ達や、童ん達が上むて、なー、びーくる齧たる時分に、うぬ童ん達あー放て、甘さる所びけーん齧とーいびーたん。あんすくと、うぬ童ん達や、腸むげーとーいびーたさ。

昭和十八年、我んねー、「 Deng 熱 」んで言る病かかて、四十度Cびけーん熱ぬあて、飲だい食だい成らんあい、五体ん弱たる事ぬあいびーん。薬ん無ーらんどあくど、をーじえー、宜さる薬やいーびーたん。甘さいびーくと、根気小出じとーいびーたさ。

うぬ時分一、戦世やいびーたくど、えーでん、南方から兵隊ぬ、ばい菌持つち来えーいびーんでーやー。あんし、又、我つ達隣んかい、くむいぬあたくと、んまんかい蚊ぬ、いっぺー居たる筈やいびーん。をーじえー、病者ぬ薬やいびーたさ。

二ち目。昔ん人ー、他島んかいぬ往来や、あんすかーさびらんたん。美里間切知花ぬ童ぬ、初みて海見ち、「あきさみよー、海んかい桶ぬ浮ちよーさ。」んで言ち、驚ちゃんぬ話小ぬあいびーん。

うぬ桶小んて言しえー、山原船ぬ事どやいびーた

る。うぬ童一、初みて船見ちえーいびーんでーやー。やいびーくと、学校生徒ぬまんぐるー、修学旅行や、あーりきさぬ、待ちかんてーそーいびーたん。

やいびーしが、ホテルどか旅館、うりから観光バスん無ーらん田舎どやいびーたくど、他島ぬ学校や、泊まい所成とーいびーたん。

夏休み成いねー、学校かい席持つち行ちやびたん。修学旅行生が、うぬ席教室なかい敷ち、んまんじ寝んじゃびたん。旅館ぬ代わいやいびーたさ。

修学旅行生や、米どか味噌、あんし梅干しんで一持つちよーる筈やいびーくと、学校ぬ下ぬ鍋道具使て、夕飯、すどみて物、うりから弁当作とーいびーたん。

教室んかえー、電気ぬ無ーらんくと、星拝て、ゆんたくしーがちーなー寝んじゃびーたさ。

我つ達学校ぬ修学旅行や、那覇やいびたん。自当てや、汽車んかい乗いる事やいびたん。

やいびーしが、近さる駅んで言しえー、嘉手納線ぬ大山駅やいびーしが、盛超て行かねー成いびらんたん。乗り物ぬ無ーらんくと、歩ち行かねー成いびらんたん。

普天間まてぬ仲順びらー、長さるふら小やいびーくと、暑さぬ童ん達や、根気小ぬ無ーらん成とーいびーたさ。

普天間宮から大山駅まで、下りーるふら小やしなかい、直く海ぬ見ゆくと、六年生ぬ童ん達や、「万歳」んで言ち、嬉ささびーたん。うぬ海一、「東シナ海」やいびーん。

我つ達や、四時間びけーんし沖縄島くんちつち歩ちよーいびーたさ。

汽車ぬ来ゆーくと、童ん達や、驚ち、珍さそーいびーたさ。

我んねー、ペルーをて、見ちよーいびーくと、珍しこー無ーやびらんたん。

泡瀬から歩ち来よーいびーくと、なー、くたんて、何処が見ちやら、何ん覺てーをいびらん。

宿一、西新町やたしが、なー、わさわさっし、が

んまりぬ多さぬ、寝んだらん。なーちゃー、にーぶい
かーぶいっし、何処が歩ちよーら分からん成とーいび
ーたさ。

なんみん「波の上宮」うりから、首里城廻たる筈や
しが、諸覚てーをいびらん。乗い物ぬ無ーらんくと、
うぬ時分ぬ修学旅行や、今考ーいねー、夢ぬ如ど
あいびーる。

う
終わい



東京スカイツリー

はじ くみぞい
初みてぬ組踊

和田晶子（我孫子市）

くじゆ しんごち とーちよー こくりつげきじよー くみぞいんー
去年ぬ四月に、東京ぬ国立劇場かい、組踊見
じーが行ちやびたん。

あーかわてちうち ゆ くみぞい
「大川敵討」んで言る組踊やいびーたん。

わ 我んねー、はじ んー 見じゆしゃくと、ちむ わさみちそー
いびーたん。

まく あ 幕ぬ上がて、じーうてー はじ たちかた ん ち
地謡ぬ始まで、立方ぬ出じて来やー
びたん。

たちかた 立方ー、よーんなーよーんなー出じてっ来、よーんな
ーよーんなー踊 始みやびたん。

ちゆ あんし清らさいびーたる。ちん しがた ぞい しわざ むる
いっぺー清らさいびーたくと、わ 我んねー、あつたに見

ぶ 一惚りっし無ーやびらん。

ぞい う あと ま 踊ぬ終わて後、待ちかんてーそーたる台詞ぬ事や
いびーん。

くみぞい くとば 組踊ぬ言葉やいびーしが、わ 我んねー、うちなーぐち びん
ちよー 強そーいびーくと、しまこ んー ぐと いぢな
台詞聞ちやびたん。

むるわ やいびーしが、諸分かやびらんたん。ちるだいっし無
ーやびらん。

しまくん ぶてー み 字幕見じーねー、舞台や見ーやびらんたん。また ぶてー
んー 見じーねー、ちむえーぬ分かやびらんたん。

しまく ぶてー みー まー 字幕と舞台、目ぐる回いしーがちー、なーふん、うちなー
ぐち びんちよー な 口ぬ勉強さねー成らんさやーんで思やびたん。

ちむえーや分かやびらんたしが、ちむくくる ちた ち
声立てて詠どーる台詞ん清らさんあい、わ 我んねー、い

っぺー肝打たりやびたん

ぞい せりふ しわざ あんがく むる 踊、台詞、為業、音楽、諸よーんなーよーんなー
そーいびーたん。

あんすくと、いみ なーか 夢ぬ中なかい居る如っし、わ 我んねー、
いー心地成いびたん。

くみぞいんー わ うび うちなーぐちえ
くぬ組踊見ち、我んが、覚たる沖縄口ー、「にー
ぶいかーぶい」、「うんぶいこーぶい」、うりから、「ぶ
にくーじゆん」、「どるみかすん」んで言しやいびーた
ん。

うちなーぐちゆー うび びんちよー な
沖縄口四ち覚て、いっぺー勉強成いびたん。

あーかわてちうち ちむくり ばす ちむ
「大川敵討」やいびーしが、肝苦さる場所どか、肝
わさわさーする場所どかあいびたしが、わら ばす
あて、いっぺーゝりきさいびーたん。

くと うらしー こくりつげきじよー
くりからぬ事やいびーしが、浦添ぬ「国立劇場おき

なわ」かい行じ、くみぞいんー ぶ うむ
組踊見じ欲さんて思やびたん。

こくりつげきじよー しまくん すな
「国立劇場おきなわ」んかえー、字幕出じやする備
わえー、あいびーがやーたい。

う
終わい

会報に出てきた語句の説明

- ちむくくる ・肝心：心。心を強めて言う語。
- ちゆ ・うりから：それから。

- ・^をこ^で：で。主に動作の行われる場所を、ときにその時間を示す。
- ・あんし：(接続) そうして。そして。
- ・いきらさん：少ない。僅かである。
- ・いきらく^な成いびたん：少なくなりました。
- ・やいびーしが：ですが。
- ・～んでー：など。
- ・細^{くめ}ーきゆん：つましくする。細かく注意を払う。
- ・～なかい：の。の中に。
- ・いっぺー：たいそう。非常に。
- ・に^ふー：ありがたく思うこと。感謝すること。
- ・うんぬきゆん：申し上げる。目上に言うことの敬語。
- ・さ^て：さて。
- ・うんにーに：そのおりに。その時に。
- ・うんにーねー：その時には。
- ・～ちーてー：ついては。
- ・むさつと：毛頭。少しも。
- ・ふるまさん：不思議である。
- ・ふるまし^{くどば}言葉：不思議なことば。
- ・～ん^いで言ちやい：と言ったり。
- ・～ん^いで言ち：と言って。
- ・ちつと：きつく。強く。しっかりと。きっと。
- ・ちゃー：いつも。常に。
- ・あたい：くらい。ほど。
- ・餓^が鬼：食いしん坊。食をむさぼる者。
- ・後^{あと}ぬうんじゆめー：あげくの果ては。
- ・腸^{わた}ぬく^{わた}ふるか笑ゆん：腹を抱える。
「しちり^ふーり笑ゆん」も腹を抱えて笑う。
- ・ちむえー：意味。わけ。
- ・しかつと：しかつと。ちゃんと。
- ・此^くぬ^{くど}如っし：このようにして。
- ・肝^{ちむう}打たりゆん：感動する。
- ・暮^くらし方^{がた}：暮らし方。生計。
- ・やーさん：ひもじい。空腹である。
- ・やーさしえ^をー居らんがやー：お腹をすかしていないかねえ。
- ・ちゃっさん：いくらでも。
- ・旨^まさ物^{むん}：うまい物。
- ・ふ^ちっちー：ご馳走。
- ・肝^{ちむちゆ}清らさん：心が優しい。
- ・し^な情^さき：情。思いやり。
- ・たつた：次第に。
- ・言^ゆーにん^{うゆ}及ばん：言うまでもない。もちろん。
- ・しーじゃ方^{かた}：年上の方。
- ・うさがゆん：召し上がる。
- ・うさがみそーれー：お召し上がりください。
- ・を^ちーじ：砂糖きび。
- ・ふ^ど：せたけ。せい。
- ・ふ^どぬう^つぴそーる：せたけの大きさをしている。
- ・齧^{かかじ}ゆん：かじる。
- ・口^{くち}じゆくい：何か少し食べて食欲をそらすこと。
- ・いちゆたー：ちょっと。しばらく。
- ・あびゆん：叫ぶ。大声で呼ぶ。
- ・あ^ほー放^ほゆん：追い払う。追っばらう。
- ・あきさみよー：あれえっ。きゃあつ。
- ・腸^{わた}ぬみー：腹一杯。
- ・上^あむ^て：上の方。
- ・あんすか：それほど。
- ・じんぶん：知恵。
- ・いーくる：大よそ。大方。
- ・～びけーん：ばかり。
- ・あんすくど：それだから。だから。
- ・腸^{わた}むげーゆん：腹が煮えくり返る。非常に立腹する。
- ・くむい：池。
- ・んま：そこ。
- ・まんぐる：ころ。おおよその時を示す。
- ・あ^りきさん：面白い。楽しい。
- ・待^まちか^てん^てー：待ちかねる事。
- ・す^とみ^{むん}て物：朝飯。
- ・ゆんたく：おしゃべり。
- ・～がちー：ながら。つつ。
- ・目^み当^やて：目当て。目標。

- ・ふうら：坂。
- ・仲順びら：仲順ちゅんじゅんの坂。
- ・嬉うっささびーん：喜びます。
- ・くんちゅん：横切る。
- ・くたんでゅん：くたびれる。疲れる。
- ・わさわさすん：がやがやする。
- ・がんまり：いたずら。
- ・なーちゃ：翌日。
- ・にーぶいかーぶい：しきりに眠気がさすさま。
- ・肝ちむわさみち：胸騒ぎ。心が落ち着かないこと。
- ・よーんなー：ゆっくり。
- ・あったに：にわかにに、不意に。
- ・見み一ぶ惚りすん：ほれほれと見る。
- ・ちるだい：失望。落胆。
- ・目みぐる回まい：目をきよろきよろさせて見回すこと。
- ・なーふん：もっと。さらに。
- ・ばー：よい。
- ・ばー心くち地：いい気持ち。
- ・うんぶいこーぶい：首を前後左右に曲げるさま。こ
っくり。
- ・ふにくーじゅん：舟をこぐ。
- ・どるみかすん：まどろむ。うとうと寝る。
- ・肝ちむわさわさーすん：(楽しいことで)心が浮き立つ。

*本文では、語句は活用されているのがありますので、ここに示しました語句とは必ずしも一致していません。

参考文献

- ・沖縄語辞典「国立国語研究所」
- ・沖縄語辞典 内間直仁・野原三義 編著
- ・Okinawan-English Wordbook Mitsugu Sakihara
「University of Hawaii Press」
- ・広辞苑「岩波書店」
- ・新公用文用字用語例集
「内閣総理大臣官房総務課監修」

事務局から

遠くは、石垣市から大阪生まれの澤岬弥生さんが、素晴らしいお話を送って下さいました。洞察力のある方で、毎回私が気付かない話題を書いていただいております。失敗談を楽しく読ませていただきました。次は何が出てくるか楽しみにしております。この文は面白いので、沖縄の勉強会の席で、音読の教材として使ってみました。

久しぶりに新垣清松さんからも楽しい思い出話をいただきました。私は田舎出身ですから、新垣さんの昔話はよく分かります。実は、私も幼少のころ、人の畑へ入ってちょっと失敬して砂糖きびをかじったことがあります。そのことを思い出しながら、編集しました。ほんとにありがとうございます。

和田晶子さんの文は、ほとんど添削はしておりません。和田さんと同年代の若い方々は、沖縄人うちなーんちゅでも、このくらい書ける人は、少ないと思います。ほんとにありがたく思っております。組踊の台詞は、教室では、まだ取り上げて勉強しておりませんが、一生懸命に唱えを聞いたのですね。実は、私も勉強不足で、組踊の唱えを全部分かるわけではありません。これから一緒に勉強しましょうね。

今回の写真は、沖縄へ出かけたとき、首里城まで足を伸ばして守礼門を撮ってきました。

また、東京スカイツリーは、私が生まれ育ったフィリピン・ミンダナオ島から広島大学大学院へ留学中の女性と都内見物をした時に撮ったものです。彼女は、ミンダナオ国際大学に在籍していた時の私の里子でした。トップで卒業して日本へ留学できました。

この会報を音読などの教材として使用される方がおられましたら、事務局へ連絡くださいませ。会報を増刷して差し上げたいと思います。

この会報は、「うちなーぐち」にご関心があれば、会員以外の方でも投稿できます。

原稿は趣旨を変えないで、手直しをする場合がありますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。そして大変恐縮ですが、原稿料はお支払いできませんので、会報を寄贈して薄謝に代えさせていただきます。

國吉(眞)